



THE Y'S MEN'S CLUB OF SAPPORO
CHARTERED ON NOVEMBER 21, 1955

2017年10月

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(561)5217

札幌クラブ

The Service Club of YMCA
The International Association of Y's Men's Clubs

EMC/E (クラブ拡張) YES (Y's Extension Support)

— 主 題 —

国際会長

Let Us Walk in the Light- Together
—Fellowship across the Borders—

Henry Grindheim (ノルウエー)

札幌クラブ役員

アジア会長

Let Us Walk in the Light- Together

Tung Ming Hsiao (台湾)

会 長 柴田 伸俊

東日本区理事

広げよう ワイズの仲間

栗本 治郎 (熱海)

副会長 中田 千鶴

北海道部部长

EMCの強化

森 熊治郎 (札幌北)

書 記 中田 靖泰

札幌クラブ会長

楽しいワイズ

柴田 伸俊 (札幌)

会 計 秋葉 聡志

直前会長 宮崎 善昭

今月の聖句

義に飢え渴く人々は、幸いである。その人たちは満たされる。
平和を実現する人々は、幸いである。天の国はその人たちのものである。
マタイによる福音書5章6節、10節 (中田 靖泰選)

ウオールクライミングで新しいコミュニティづくりを 北海道YMCAスタッフ 大越 創

北海道 YMCA 創立 120 周年!

クラーク博士の影響を受けた内村鑑三・新渡戸
稲造・宮部金吾らによって創立された、北海道Y
MCAは今年119年を迎えました。4月1日を創立
記念日と定め、創立の思いに立ち返ると共に、YM
CAの願いを多くの人に伝え、共に学び合う時とし
て、ジャズコンサート、記念講演会、記念グッズの作
成等々多くの行事、事業を行っています。

その中でもメインの事業は北海道 YMCA 本館体
育館でのウオールクライミングの建設です。

札幌クラブはウオールクライミングを担当している
大越創さんをお招きしてウオールクライミングへの理
解を深めました。(以下はその要約です。)



近頃は東京オリンピックの盛り上がりにあわせて、クライミングがメディアに取り上げられが増えてきました。日本選手の活躍をテレビで見たことがある人もいられるかもしれません。一口にクライミングと言っても「ロッククライミング」や「フリークライミング」や「ボルダリング」といった様々な呼び名があります。ざっくりと分類すると、もとは登山の一つのスタイルとしてロッククライミング(岩登り)がヨーロッパやアメリカを中心に始まりました。初期の頃はアブミなどの道具を駆使し絶壁を攻略(エイドクライミング)していましたが、岩を削ったり穴をあけたりと自然の形を変えてしまうという問題がありました。そこで始まったのが「フリークライミング」です。フリークライミングのフリーは「道具を使わない」という意味です。そのフリークライミングでも、高さのある岩場を、安全確保の為のロープを使って登るスタイルを「ルート(ロープ)クライミング」、3~4mほどの岩を、ロープを使用せずに登るスタイルを「ボルダリング」と言います。英語でボルダーとは岩の塊で、そのボルダーを登る行為をボルダリングと呼びます。(p. 3に続く。)

2017年9月例会 在籍会員 10名 例会出席 7名 ネット 0名 メーキングアップ 1名
出席報告 ゲスト 0名 ビジター 1名 計 8名 出席率 70%

札幌ワイズメンズクラブ

2017年10月例会

日時 2017年10月17日(火) 18:30~20:30

会場 北海道 YMCA

札幌市中央区南11条西11丁目1-2

Tel. 011-561-5642

会費 1,000円

プログラム

- | | | |
|-----------------|---------|-------|
| | 司会 | 中田 靖泰 |
| ① 開会点鐘 | 札幌クラブ会長 | 柴田 伸俊 |
| ② ワイズソング・ワイズの信条 | | 全員 |
| ③ 聖句 | | 秋葉 聡志 |
| ④ 開会挨拶 | 札幌クラブ会長 | 柴田 伸俊 |
| ⑤ 誕生日 | | |
| 10月17日 | 柴田 伸俊 | |
| 結婚記念日 | なし | |



卓話

「盲導犬のお話し」

盲導犬協会渉外部長 大徳吉則様
+ 盲導犬 ? 号殿



- | | | |
|-----------|------|-------|
| ⑥ 諸報告 | | |
| ⑦ YMCA報告 | 担当主事 | 佐藤 雅一 |
| ⑧ みんなで歌おう | | |

「村祭り」

今はもう見られない
風景ですが！



- | | | |
|--------|---------|-------|
| ⑨ 閉会挨拶 | 札幌クラブ会長 | 柴田 伸俊 |
|--------|---------|-------|

何故この聖句を？ 中田 靖泰

10月突然総選挙ということになりました。「国難選挙」とか「疑惑隠し選挙」とか、いろいろな人がいろいろなことを言っています。

歴史上、現代ほど戦争(武力衝突?)が日常的に行われている時代はないのではないのでしょうか?しかもそれはキリスト者と称し毎週教会に行っている人たちによって行われています。「山上の垂訓」を静かに読んでみる時だと思います。

札幌ワイズメンズクラブ 9月例会

日時: 2017年9月19日(火) 18:30~20:30

場所: 北海道YMCA 総主事室

参加者: 秋葉、佐藤、柴田、中田千、中田靖、伏木、宮崎

ビジター: 義村小夜子(札幌北)

ゲスト: 大越創(卓話者) 計 9名

台風で前日(18日)のYMCAチャリティアップパークゴルフが中止になりました。雨もよいの中、9月例会が行われました。北海道YMCA創立120周年記念ジャズコンサート~「飯田さつきトリオコンサート in 時計台」は150名の聴衆を集めて成功裏に終了しました。これから、バザー、会員総会を控えていますが、120周年最大の事業であるウオールクライミングについて学ぶためにYMCAの大越創さんをお呼びして、YMCAに設置されるウオールクライミングのことで、大越さんが主宰されている身障者支援の「えぞモンキー」のことなどを詳しく伺いました。「今月の歌」は皆がアルピニストになったつもりで「雪山賛歌」を歌いました。



札幌ワイズメンズクラブ 9月事務会

日時: 2017年9月26日(水) 19:00~20:00

場所: 北海道YMCA 総主事室

出席者: 秋葉、佐藤、柴田、中田千、中田靖

確認・協議事項

① 10月例会:

- ▼聖句 中田靖泰
- ▼巻頭言 川上由美子
- ▼誕生日 10月17日 柴田伸俊
- ▼結婚記念日 なし
- ▼卓話 盲導犬協会

② 10月14日バザー打ち合わせ

- ▼前日店舗設営 午後6時~午後7時
- ▼当日 午前8時準備開始 開店10時
- ▼参加者: 秋葉夫妻、柴田夫妻、中田夫妻、宮崎夫妻

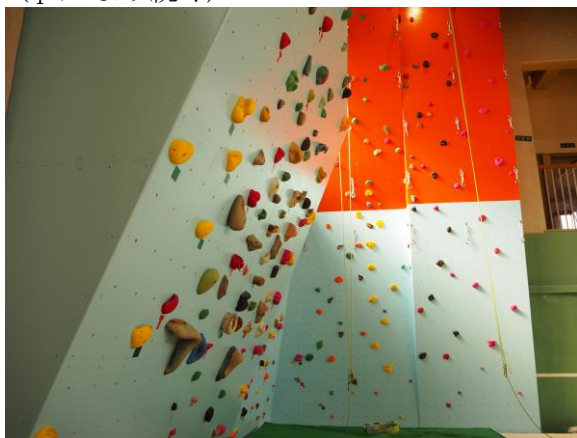
③ ニセコ第2例会:

- 10月20日(金) 午後出発
 - 10月21日(土) 午後帰札幌
- 参加は柴田、中田の予定。

フリークライミングで新しいコミュニティづくりを

大越 創

(p.1より続く)



この度、北海道 YMCA では創立 120 周年事業として、9 月 17 日～24 日の約 1 週間の工期で体育館西側の壁にクライミングウォールが設置されました。YMCA のクライミングウォールは 4 面で構成されており、ルートクライミングとボルダリングの壁がそれぞれ 2 面ずつあります。ルートクライミングの壁はなんと天井まで到達しており、ちょうど 8m の高さがあります。8m を登り切ったときの達成感や高揚感は格別で、ぜひその興奮を少しでも多くの方に感じて頂きたいです。

さて、少し個人的な話をさせていただきますと、私は趣味としてフリークライミングを楽しんでいます。そのなかでユニバーサルクライミングサークル「えぞモンキー」という活動を月 1 回開催しています。ユニバーサルクライミングとは、年齢や性別、国籍、障害の有無を問わず誰もがクライミングを通して一緒に楽しもうという取り組みです。

活動のきっかけは、学生時代の恩師の教え「noblesse oblige (ノブレスオブリージュ)」という言葉。ノブレスオブリージュとは知識や経験を社会に対して還元する責任ということです。そこから、自分にも趣味を活かして少し人の役に立てるようなことを実践しようと考えたことが始まりでした。

はじめは不安もありましたが、いざスタートすると活動を面白がって参加して下さる方が多く、毎月 10～20 名の参加者が集まっています。えぞモンキーの活動ではだれもが楽しめるコミュニティをつくりたいという想いもあり、参加者同士の関係性を大切に、皆で和気あいあいとクライミングを楽しんでいます。

スタート時は「自分が何かをしてあげられれば」という少々上から目線な視点がありましたが、むしろ自分が他の参加者から学ぶことが多く、周りの人たちに成長させてもらっていることを実感しています。

例えば聴覚障害の方からは簡単な手話を教えてもらいました。視覚障害の方からはスマートな手引きの方法を教えてもらいました。また、「もっと難しいコースを登れるようになりたい!」「もっと上手になりたい!」という想いはだれもが同じ。ほんの少しの配慮で、想いを共有し、1人1人の視野を広げていくことができます。

ともするとスポーツは「上手/下手」など人と人の間に線を引いてしまい、距離をつくってしまうという面も持っていますが、それ以上にスポーツは人と人をつなげる力を持つものだと考えています。プロスポーツではまさに、スポーツを通して観衆と選手や観衆同士を一つにしています。

スポーツやコミュニティには人を成長・つなげる力があり、えぞモンキーの活動はそうした力をより日常的なレベルで機能させていきたいという狙いもあります。背伸びしたものではなく、ちょっとした活動の中で自分と仲間を少しだけ成長させる、そんなイメージです。

YMCA のウェルネス事業においても、競技・レジャー・エクササイズといったスポーツの様々な側面と、その中で営まれる人と人の相互作用を上手に活かして、YMCA に訪れる方々がより多くの世界とつながっていけるような取り組みができればと思います。



リードクライミングでは、クライマーとビレイヤーがチームとなって安全を確保しながら登ります。ビレイ (belay) とは「確保する」という意味です。

YMCAニュース 担当主事 佐藤 雅一**専門学校国際活動報告会****① 北海道 YMC 創立 120 周年記念・会員大会**

今年度の会員大会は、創立120周年を記念し、より多くの会員が交流を深め、子ども達や家族がともに楽しめる大会となるよう会員大会実行委員会により準備を進めています。

メインプログラムは午後の記念礼拝からになりますが、午前中の特別プログラムにもご参加ください。

日時：2017年11月3日（金）文化の日

10:30～16:30

会場：北海道YMCA 体育館及び101教室

特別プログラム 10:00～12:00

▼クライミングウォール献堂式 ▼活動発表会

▼会員交流昼食会

メインプログラム 10:00～12:00

▼創立120周年記念礼拝 ▼事業報告・会員表彰

▼記念セミナー

講師 中村 絵乃氏（開発教育協会事務局長）

テーマ 「ポジティブネットを北海道から世界へ」

*会員昼食交流会は、とち帯広YMCAの子ども達が育てたジャガイモや北海道の食材、フェアトレードの調味料を使ったカレーライスを用意いたします。食事は無料です。

②国際協力募金にご協力下さい。

北海道YMCAが毎年国際協力募金を続けている理由は、北海道YMCAミッションステートメントにある「私たちは、アジア社会の一員として世界の平和を願い、共に喜びや苦しみを分かち合える地球社会の実現に力を注ぎます。」の具体的な活動として行っています。困難な状況の中で暮らす人々に支援の手を差し伸べることはYMCAの使命であると同時にテロや紛争を防ぐ大きな効果があると言われてしています。

世界各地のYMCAが行っている多くの活動は人々の生活を助け、自立して生きていけるように支援するためのもので、それは平和を築いていく活動につながっていきます。みなさんからお預かりした国際協力募金は、世界各地で行われている様々な活動を支える大切な資金となっています。

③11月19日街頭募金にご参加下さい。

11月19日（日）①10:00～11:00 ②11:00～12:00

集合・解散 三越前 各時間の10分前集合

④世界YMCA・YWCA合同祈禱週

今年も11月12日～18日が、世界のYMCA・YWCAが心を合わせて祈る合同祈禱週に定められています。テーマは「立ち上がり、思い切って言いなさい。」～抑圧や、差別に置かれた人々の声を～です。この祈禱週は、世界各地のYMCA・YWCAの多くの会員とその仲間たちにとって、これまでいつも特別な意味を持ってきました。

それは、共に祈り合うことが私たちの結び付きを深め、主の下ではすべての創造物が平等であることを知り、主のわざに励む使命感を強めてくれるからです。又 自分たちの活動を検証し、地の塩としてその生き方と働きを新たにするための1週間でもあります。



9月30日（土）13:30から専門学校生との海外活動の報告会が開かれました。今年から会場は札幌駅前のホワイトビル カンファレンスセンターに移り、参加しやすくなりました。

カナダのモントリオール YMCA 専門学校に留学した学生は、ホームステイで英語漬け。南米、ヨーロッパ、中東などからの留学生に囲まれて語学以外の文か体験でも大きな成果を上げて帰ってきたようです。

アメリカのニューヨーク郊外の**フロストヴァレー・ジャパニース YMCA キャンプ場**にカウンセラーとして参加した本間君の発表には驚きました。「参加するキャンパーは1,000名、ヴォランティアリーダーは600名、キャンプ場の広さは山手線の内側と同じ」というのには「本当？」と聞き返したくなりました。規模だけでなく、プログラム・リーダーと生活面をサポートするカウンセラーとが分離しているなど、日本のキャンプと異なる点がいろいろあるようです。先生の話によると、留学経験をした生徒たちは見違えるほどたくましく成長し帰ってくるそうです。

EMC/E とは？ YES とは？

今月の協調月間は EMC/E と YES です。

EMC は Extension, Membership, Conservation 「クラブ拡張、会員増強、維持啓発運動」と訳しています。10月はその中の **E** を特に強調します。今期の栗本理事は主題を「広げよう ワイズの仲間」として各部に **Extension** 委員会を設置するなど **Extension** に特に力を入れています。北海道部でもかって「函館、旭川、苫小牧などに新クラブを」という動きはあったのですが実りませんでした。長期的な視点で見直してみましよう。

YES は国際協会が提唱している運動です。**YES** は Y's Extension Support の頭文字です。文字通りワイズの新クラブ設立を支援する基金です。東日本区でも会員一人当たり年500円を集めて、世界中の新クラブ設立しているクラブを支援します。札幌クラブも収めるだけでなく、いつか **YES** 基金を申請できるクラブになる日を目指しましょう。